



坊っちゃん(1)

氏 名

組

番

得 点

50

1

次の――線部の片仮名を漢字に直し、漢字は読み仮名を書きなさい。

- (1) テヌグいで食器をふく。
(2) 励まされて勇気がワいてきた。
(3) 彼の人物については私がウけ合う。
(4) 刀のハサキが光る。
(5) 着物を質に入れる。
(6) 大きな屋敷に奉公する。
(7) 九州支社長に赴任することが決まった。
(8) 稲が実っている。

(各2点×8)

(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)

2

次の語句の意味として最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

- (1) 無鉄砲
ア 見掛け倒しであること。
ウ 先のことを考えずに行動すること。
(2) 不審
ア どちらかに決められないこと。
ウ 正々堂々で行うこと。
(3) 周旋
ア 間に立って世話をすること。
ウ 色々な人が手助けをすること。
- イ 極めて不利な状況で戦うこと。
エ さまざまな工夫を凝らすこと。
イ 疑わしく思うこと。
エ 落ち着きがないこと。
イ 話を持ちかけること。
エ てきぱきと処理すること。

(各6点×3)

(3)	(2)	(1)

3

次の(1)～(4)が(――)内の意味の表現になるように、――に入る言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

(各4点×4)

- (1) ーを尽かす(見限る。)
(2) ーに立つ(有用である。)
(3) ーの毒(同情して心を痛めること。)
(4) いいーの皮(とんだ迷惑。)
- ア 面^{つら} イ 役
ウ あいそ エ 気

(4)	(3)	(2)	(1)



坊っちゃん(1)

氏 名	組 番
得 点	
50	

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

いた」のですか。文中からそれぞれ書き抜きなさい。(完答10点)

が に対して。

問二 線②「これ」が指す内容を次のうちから選び、記号で答えなさい。(10点)

- ア 清が兄に隠れて「俺」に物を与えること。
イ 父が兄にばかり物を買ってやること。
ウ 父は頑固だが、えこひいきはしないこと。
エ 清がもう婆さんになってしまったこと。

問三 線③「立身出世して立派な者になる」とはどうすることだと清は思っていますか。「こと。」につながる形で文中から二十二字で探し、その初めと終わりの三字を書き抜きなさい。

、 (完答10点)

こと。

問四 線④「こんな婆さん」とはどんな婆さんですか。次のうちから選び、記号で答えなさい。(10点)

- ア 先のことを気楽に考える婆さん。
イ 人の悪口ばかり言う婆さん。
ウ 思いこみの激しい婆さん。
エ 愛情にあふれている優しい婆さん。

問五 線⑤「清がなるなると言うものだから、やっぱり何かになれるんだろうと思っていた」とありますが、この部分以外で、清に何度も言われているうちに、「俺」がその気になっていることが書かれている一文を文中から探し、その初めの五字を書き抜きなさい。(10点)

問一 線①「全く愛に溺れていたに違いない」とありますが、誰が誰に対しての「愛に溺れて

(夏目漱石『坊っちゃん』)

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。